

つくば市公立保育所の新耐震基準を満たさない施設の整備方針（案）  
保護者説明会

上広岡 保育所

月 日	開催時間	参加者数	
		会場	オンライン
7月31日（土）	10:00～11:00	12人	6人

【主な質問・意見と回答】

・：保護者質問、意見  
→：市回答

- ・この方針案は保護者意見によって変更があるのかそれとも決定事項なのか。  
→基本的には、この計画及びスケジュールで進めていきたい。  
しかし、説明会でいただいた意見を受けて改善すべき点は見直して進めていきたいと考えている。
- ・保護者にとって考えるための時間が短い。入所前に、6年後には民営化される等情報の開示がされていれば、入所にあたって納得して入所できたと思う。  
→急な話となってしまったことをお詫び申し上げます。  
(この方針について)なるべく早めにお伝えすべきと考えたためこのスケジュールでの開催となった。今後については、なるべく早めに情報をお伝えしていきたい。
- ・修繕をしながら保育を続けていくとのことだが、具体的に修繕の中で耐震性能を上げる修繕を行う予定はあるのか。  
→数値を改善するには耐震改修設計に基づいた耐震改修工事を実施する必要がある。  
現状は、必要に応じての改修で安全性を保っていくことを考えている。
- ・転所を希望した時の加点については、待機児童の発生を防ぐため民間に移行する前のタイミングのみとあるが、上広岡と上ノ室の統合など、近いエリアから一斉に転所希望者が出た際には重複してしまうのではないかと？  
移行の直前期の加点だけではなく、周辺保育所の定員を増やすなども含めて段階的に転所を行えるようにすべきと考える。また、加点自体も前年だけでなく、段階的に行うべきではないか。  
→いただいた御意見については参考として検討させていただきたい。

- ・学年の途中からの転所となると転所先の保育所等でも空きがないと思う。  
転所を考える際には、他の園の定員枠が増えるのかそれとも既存の定員枠の中で考えないといけないのかどちらなのか。

→令和7年度のスタートが目標である上広岡と上ノ室の2園を統合しての新園では、その新園分の定員は確保することを考えている。

新園ではなく他の公立保育所へ転所したいという希望に対しては、令和7年度の転所では加点を行い、それ以外のタイミングでは（平時と）同じような転所の仕方を考えているところだが、加点時期等は検討事項として持ち帰らせていただく。

→児童を預かる際の定員の考え方として、1保育所の広さ、2児童を見る先生の人数の2点がありこちらを基準として定員が決まる。

つくば市内には公立保育所は23か所あり、現在、再編対象にならない保育所の面積を改めて精査している。

再編により、一部の公立保育所が民間に移行することで、再編対象保育所に従事している保育士は異動により他の公立保育所に移ることとなる。

精査中の各保育所の面積を参考に、その保育士の異動先を検討していくことを想定している。

- ・必ずしも、上広岡周辺の保育所の定員が増えるとは限らないという理解でよいか？

→はい。保育士の人数、各保育所の面積等を勘案ししっかりと精査していきながらこの計画を進めていきたいと考えている。

- ・新園の定員は130名程度とあるが、用地の決定の時期の目途はたっているか。

→スケジュールに記載のあるように、令和5年後半から令和6年前半にかけて決定していく予定である。

- ・建設用地は公募をする段階でわかっているのか？もしくは公募してからわかるものなのか？

→公募をして、業者が手をあげてからわかってくるものである。

業者や建設場所が決まった時点でも説明会を実施する予定である。

- ・耐震基準を満たしていないとあるが、避難時の訓練強化、新しい動線を考えていくなど、災害が起こった際に保育士がどう児童を守るのか、今後新たに定めていくことは考えているか？

→保育所では毎月1回避難訓練を行っている。大小にかかわらず地震、火災時等様々なケースを想定して行っている。

- ・市が考えるスタンダードな保育を期待してこの園に預けており、公立であることをメリットと思っていた。民間になると良くも悪くも特色が出てしまう。

先生達が「こういうスタンスでやっている」ということを伝えてくれていたから安心していた部分があるが今後はどうなってしまうのか。

実際に働いている先生たちは現在どのような気持ちなのか。また、先生たちは今後どのようなようになっていくのか。

→保育内容としては、公立も私立もそれぞれ特色を生かして保育をしている。

公立・私立ともに国の「保育所保育指針」に沿って、また、つくば市では「つくば保育の質ガイドライン」を定めてそれに沿って保育を行っており、保育内容が大きく変わることはないと思っている。

→職員にも少し前に説明会や所長を通しての説明などを行った。

説明会の時など職員からも質問や意見をもらいながら進めてきた。

各保育所の職員としても、市内の保育所は全体的に築年数も長く老朽化が進んでいる保育所も多数あることから、理解はしていた。

それが、今回の説明を受けたことで、移行にあたっての引継ぎ保育の検討なども進んでいるということを知ったことで安心したようである。

民間に預けた際の、保護者の方の不安については、民間保育園も公立保育所同様の保育が出来ればという思いはある。

民間保育園での保育内容などで心配なところがあれば、市職員が民間保育所に出向いて助言等も行っているので、市と民間園とで連携しながら進めていきたい。

・極端な例かもしれないが、保育所によっては夕方の預かり保育の時間になると、家と同じようにテレビを見せていたりすることを聞いた。

お稽古事や、英語の時間など良し悪しだとは思いますが、民間に委託したらそれで終わりということではなく、市が民間保育所に対して適宜指導していくという理解でよいか？

→すべてを市の意向として反映させることは難しい。

しかし、こういうのはどうだろう、こういう風にするとよいなどの助言をしていくことはできる。

ちょっとやり方がおかしい等、保護者の方で思ったことがあれば、幼児保育課に相談してほしい。保育園に出向いて、相談しながらいいやり方を見つけていけると思う。

・民間だと加配の保育士がつかないなど聞くがつくば市ではどうか。障害の程度によってどこで加配をつけるかつかないかというのは難しい問題かとは思いますが、加配の保育士をつけてほしい。

→加配の保育士については、市独自の補助金を出しているところである。今ある民間保育園の中でも、力を入れているところもある。補助金を活用しながら保育してもらっている。公立で心理士が保育所訪問をして、保育士指導などもしている。

まだ、民間への心理士訪問までは進んでいないが、今後は「発達支援センター」を計画しているので、その中で心理士が民間保育園へも訪問できるようなシステムの構築も計画している。

民間、公立とで差が出ないように同じになるよう検討を進めているところ。

- ・民間保育園を増やすのであれば、公立と同じように保育ができるようお願いしたい。

→御意見として参考にさせていただく。

- ・耐震基準の話と民営化についての話が一緒になっているため説明としてわかりにくいという印象。

耐震基準の面で一つ確認しておきたいのは、法定点検は受けていると言っているが例えば今日震度6の地震が来たとしても大丈夫という理解でよいか。

→大変申し訳ないが、ここで大丈夫、大丈夫じゃないということはお答えできない。日々の点検で、大丈夫となるよう確認している。

- ・昭和56年に基準ができて、10年前に東日本大震災が起きて、今日の今まで対策がされてこなかったのはどういうことなのか。(民間移行についてよりも)こちらを先にかたをつけるべきじゃないかと思う。要望として持ち帰って検討してほしい。

→安全確保等を第一に考え整備を進めていく。

- ・民間よりも公立がいいから公立を選んでいる人も多いはず。スタンダードな保育の魅力がある。例えば、英語を教えない、テレビを見せない、字を教えないなど。民間に移行となると公立がいいとした場合、加点ではなくて公立へ転園できることを経済面での負担ということも含めて確約すべきかと考えるがどうか。

→検討させていただく。

- ・(自分も公立がよいとして選んだ側だが、)民間に移行することで国の補助金等により市の負担が減るとあるが、浮いたお金は具体的にどこにまわっていくのか。また、公立を無くしていくほど毎年財政状況は大変なのか？

→削減できた予算は、人口増も踏まえてその他の子育て支援や待機児童対策の事業に活用できればと考えている。

- ・改修工事が終わるまでの児童の安全の確保を一番に考えてほしい。

安全をどのように確保していくのかを保護者に示しながら進めてほしい。

→児童の安全を第一に考えてしっかり進めていきたい。

以上